

お知らせ

2021年2月26日
東北電力株式会社

プルトニウムの利用計画について

日本原燃株式会社の六ヶ所再処理工場につきましては、2020年7月29日に再処理事業変更許可を受領し、2022年度上期の竣工を目指しております。

操業開始後は、再処理によりプルトニウムが回収される見込みであり、当社では、その利用計画を明確にし、透明性を確保する観点から、プルトニウムの利用計画※を策定いたしました。

概要は以下のとおりです。

<当社のプルトニウム利用計画>

1. プルトニウム所有量

- ・約0.7トンPut（2020年度末予想）

2. 利用場所

- ・女川原子力発電所3号機

3. 利用量

- ・別紙「プルトニウム利用計画（2021年2月26日電気事業連合会）」を参照

4. 年間利用目安量

- ・約0.4トンPut／年

（女川原子力発電所3号機に装荷するMOX燃料に含まれるプルトニウムの1年あたりに換算した量）

5. 現在貯蔵する使用済燃料の量（参考）

- ・約680トンU（2019年度末実績）

（女川原子力発電所、東通原子力発電所および日本原燃に貯蔵している使用済燃料の量）

※ プルトニウムの利用計画は、原子力委員会が決定した「我が国におけるプルトニウム利用の基本的な考え方について」（2003年8月5日、2018年7月31日）を踏まえ、原子力事業者が取りまとめ、公表するものです。

以上

（別紙）プルトニウム利用計画（2021年2月26日電気事業連合会）